

さいたま市長定例記者会見

令和5年11月10日（金曜日）

午後1時30分開会

○ 進 行 それでは、定刻になりましたので、市長定例記者会見を始めさせていただきます。

 それでは、記者クラブ幹事社、日本経済新聞社さん、進行をよろしくお願いいたします。

○日本経済新聞 11月の幹事社を務めます日経新聞と申します。よろしくお願いいたします。

 それでは、本日の記者会見内容につきまして、市長からご説明をお願いいたします。

○ 市 長 皆さん、こんにちは。

 木々も色づき始め、秋の深まりを感じられるようになりました。11月は、行楽の秋らしく市内各地でイベントが開催されますが、その中から12日日曜日に行われる2つのイベントをご紹介します。

 まずは、大宮区役所をメイン会場に、区制施行20周年記念イベントとして開催される「大宮区鉄道フェスタ」です。こちらは、鉄道に関する展示や大人気のミニ新幹線の運行などを行うものですが、今回は山丸公園にあるC12型蒸気機関車の子供たちによる塗り替え体験も行います。

 この蒸気機関車は、JR東日本大宮総合車両センターの皆様が事前に修復した上で、本物の蒸気機関車で使用している塗料で塗り替えをし、さらに新たにプレートや気笛などを再製していただいたものです。

 当日は、車両の一部を子供たちに塗ってもらい、この蒸気機関車への愛着をさらに深めていただきたいと思います。JRの皆様をはじめ、ご協力いただいた皆様には心より感謝申し上げます。

 今月25日には「鉄道のまち大宮 鉄道ふれあいフェア」も開催されます。引き続き関係者の皆様と協力しながら一緒に「鉄道のまち大宮」を盛り上げていきたいと考えております。

 もう一つが大宮銀座通りで開催される「食べて応援！さいたまホタテ祭り」です。1,000個のホタテの鉄板焼きの販売を行うこのイベントは、

風評被害に困っている東日本の水産業を応援するものです。

本市は、東日本の交流拠点として、様々な東日本の自治体などと協力連携関係を築いてきましたが、困っているときこそ積極的に協力し、東日本全体を盛り上げていきたいと考えています。

ぜひ多くの市民の皆様においしいホタテを味わっていただくとともに、東日本の水産業支援へのご協力をお願いします。

それでは、議題に入らせていただきます。

市長発表：議題1「ラオス国水道公社と水道分野の強化に向けた覚書を更新します」

それでは、議題1「ラオス国水道公社と水道分野の強化に向けた覚書を更新します」についてご説明します。

初めに、ラオス国との水道事業に関する協力関係についてですが、本市はラオス国に対し、30年以上にわたり水道技術協力を行ってきました。

これは、ラオス国への水道技術協力を検討していた厚生省の要請により、平成4年に派遣された現地調査団に参加したことをきっかけとしたものです。その後もJICAが実施をしている技術協力プロジェクトなどを通じて、水道局職員の派遣による技術指導やラオス側の研修生の受入れを行い、ラオス国の水道分野の発展に貢献してきました。

この間、平成23年に首都ビエンチャン水道公社との間に水道分野の強化に向けた協力に関する覚書を締結しました。また、平成28年には北部のルアンパバーン県と南部のカムアン県の水道公社を加え、覚書を更新するなど、水道技術協力に関する相互の協力関係の強化と友好関係の増進を図ってきたところです。

次に、今回の訪問の目的ですが、現在締結中の覚書の期間が令和5年12月で満了することから、より効果的な水道技術協力の実施に向けて、11月13日から17日の5日間の日程でラオス国を訪問し、新たに覚書を更新します。

また、この機会に本市が実施してきた技術協力の実績と成果を現地で検証し、新たな覚書の方向性を確認するとともに、今後の技術協力に向けたさらなる友好関係の構築と水道分野の交流を図りたいと考えています。

次に、覚書の更新についてです。更新する覚書は、引き続き首都ビエン

チャン、北部のルアンパバーン県、南部のカムアン県の主要な3つの水道公社との間で締結し、期間は5年間を予定しています。

最終的な内容については、現地でラオス側と協議の上定めることとなりますが、新たな取組としては、さらなるラオス国の水道の発展に向けて、本市を含む日本側の支援で令和3年に設立されましたラオス水道協会を活用した、研修事業による協力成果のラオス全国への展開を図っていくものとして考えています。

訪問中のその他の予定としては、今後の円滑な技術協力の実施に向けて、水道を含むインフラを所管する公共事業運輸省、首都ビエンチャン、ルアンパバーン県などへの表敬、意見交換や、浄水場の視察などを行うこととしています。また、技術協力の成果を確認するために水道工場の施工現場の視察や、現地の水道公社が小中学生を対象に実施している水道教室の実施状況を見学する予定です。

これまでの水道技術協力とこれを下支えする覚書は、本市とラオス国の長年の友好関係とラオス水道の発展に寄与したものと認識しています。

一方で、ラオス全体での水道普及率は未だ25%前後にとどまっており、SDGsのゴールの一つでもある「安全な水とトイレを世界中に」を実現していく点からも、ラオス国と本市の相互の協力関係を基礎としたさらなる水道技術協力が必要と考えています。

今後の覚書を新たな契機として、ラオス国の水道のさらなる普及、公衆衛生の改善によるさらなる発展とそこに住む方々の生活環境の向上に本市は引き続き貢献していきたいと考えています。

市長発表：議題2「一般国道463号越谷浦和バイパス鶴巻ランプが開通します～11月14日にDIGランプが供用開始～」

続いて、議題2「一般国道463号越谷浦和バイパス鶴巻ランプが開通します」についてご説明します。

まず、鶴巻ランプですが、これは緑区大字大門に位置し、一般国道463号越谷浦和バイパスと東北自動車道及び国道122号との立体交差によって接続する道路です。

浦和インターチェンジ周辺の交通混雑の緩和と東北自動車道とのアクセ

ス機能の強化、また緊急輸送道路のネットワーク強化を目的として整備するものです。これによって、一般国道463号越谷浦和バイパスと東北自動車道、国道122号の相互連結が可能となります。

次に、今回開通するDIGランプについてご説明します。今回整備したのは、東北自動車道及び国道122号の岩槻方面から国道463号バイパス浦和駅方面へ接続するIランプとGランプです。そして、このIランプの整備に合わせて、国道463号バイパス、越谷方面から国道122号、川口方面へと接続するDランプについて併せて再整備を実施したものです。

次に、今回整備したランプの整備効果についてお話します。現在、岩槻方面から新見沼大橋有料道路を利用して浦和駅方面へ向かう際は、国道463号バイパスを過ぎ、慢性的な渋滞区間である大門北交差点を右折する必要があります。この青のルートです。今回この(DIG)ランプが整備されると大門北交差点を経由せずに直接国道463号バイパスを利用できるようになるので、浦和駅方面へのアクセスの向上が期待できます。このピンクのルートです。

また、大門北及び大門交差点付近の交通量が減少することで渋滞緩和も期待できます。周辺道路を利用する人にとって大きな効果となると考えています。

最後に、鶴巻ランプ、DIGランプの開通日についてお知らせします。令和5年11月14日火曜日14時に開通となります。今回のDIGランプの整備により、東北自動車道東側の事業がおおむね完了することになります。今後の整備としては、東北自動車道西側のFランプ事業として、浦和駅方面から岩槻及び東北方面へのアクセスを向上させるための整備工事に着手する予定です。

今後も周辺道路を利用する人にさらに便利な道路となるよう事業を進めるとともに、東日本の活性化を牽引する中枢都市として道路の広域的な交流を支えるネットワークの充実を目指して道路整備に全力で取り組んでいきたいと考えています。

私からは以上です。

○日本経済新聞

市長からの質問についてマイクを使用して質問をお願いします。

幹事社質問：「ツール・ド・フランス さいたまクリテリウム」が11月5日に開催されました。

(1)開催を終えての市長の感想をお聞かせください。

(2)物価高が続くなか、開催費用にどのような影響があったか教えてください。

それでは、幹事社として代表質問させていただきます。ツール・ド・フランスさいたまクリテリウムが11月5日に実施されました。市長も出席されて観戦されたと思うんですけども、開催を終えて、まず市長のご感想をお聞かせください。

また、物価高が続く中、開催費用にどのような影響があったのか教えてください。

○ 市 長

それでは、幹事社質問にお答えします。

まず、開催を終えての感想ですが、多くの来場者の下、大会が盛大かつ無事に開催されました。本当にほっとしたところです。本大会の開催は、協賛各社、オフィシャルサポーターズの皆様や、警察、交通事業者の皆様をはじめとする関係機関の皆様、また会場周辺にお住まいの皆様、大会運営を支えていただいたボランティアや事業者様等のご理解とご協力によるものと考えています。改めて皆様にお礼を申し上げたいと思います。

また、大会を楽しみに市内外からさいたま新都心へ足を運んでいただき大会を盛り上げていただいた多くのファンの皆さんに心より感謝を申し上げたいと思います。市外の方については、この大会を機に再度さいたま市に訪れていただけることを期待しています。

今年の大会も大変豪華な選手たちの競演に会場は大きく盛り上がりました。クリテリウムメインレースでは、今年のブエルタ・ア・エスパーニャを制しましたセップ・クス選手とツール・ド・フランス総合優勝2連覇を史上最年少で達成しているタデイ・ポガチャル選手が最後の周回でデッドヒートを繰り広げるなど、観衆を魅了し、感動と興奮を届けてくれました。本大会の開催に当たっては、国内外のテレビ放送、新聞、スポーツメディアなど、開催前から多くのメディアに取り上げていただき、「スポーツのまち さいたま」を全国そして世界へ向けて広くアピールすることができたと考えています。

また、同日に開催したサイクルフェスタ、さいたままるしえ会場にも多くの方が来場し、多くの方の笑顔を拝見しました。さいたま新都心全体が非日常に包まれたとてもよい雰囲気だったと感じています。

また、昨年に引き続き、SDGsを意識した大会運営を行いました。PR用に作成した、さいたま新都心駅前に掲出したバナーを福祉施設との連携で再利用を図り、商品化し販売する取組を実施するほか、前夜祭やさいたままるしえにおいて、協賛企業の株式会社カネカ様からご提供いただいた植物由来のプラスチック素材を用いたフォークやスプーンを使用し、海洋汚染の低減を図る取組を実施しました。

最後に、多くの来場者をさいたま新都心にお迎えし、大会が盛大かつ無事に開催されたことを主催として大会の開催にご尽力いただいたさいたまスポーツコミッションにお礼を申し上げたいと思います。

- 日本経済新聞 物価高が続く中、開催費用にどのような影響があったか教えてください。
- 市長 続いてのご質問にもお答えします。

物価高騰による開催費用への影響については、各種イベントで影響を受けていると聞いています。さいたまクリテリウムについても、物価高騰や円安等の影響を受けていると思われませんが、大会の終了間もないことから、正確なところはまだ報告を受けていないところです。詳細については、今後さいたまスポーツコミッションから報告があると思いますので、それを待ちたいと考えています。

以上です。

- 日本経済新聞 ありがとうございます。
代表質問の説明に対して質問がある方は質問をしてください。
では、そのほかの質問がある方は質問してください。

その他：さいたま市新庁舎整備等基本計画（素案）について

- 埼玉新聞 埼玉新聞です。
市庁舎の整備の基本計画の素案が出ましたけれども、基本計画素案の受け止めと、事業費が膨れていますけれども、約400億円、まだ物価高騰の話もありますから、これよりもさらに膨らむのではないかという指摘もありますけれども、その辺の受け止めをお願いいたします。

○ 市長 まず、新庁舎の整備に当たっては、市民が集まり何度も訪れたいくなるような思い入れを生み、まちへの誇りを感じるシビックプライドの醸成にも資する本市のシンボルとなる庁舎を目指しているところです。基本計画の検討に当たっては、華美な建物は想定していませんが、政令指定都市の都市経営の拠点として全庁的なBCPにも対応できる災害対応の機能強化、また、にぎわい創出の市民広場をはじめとした市民利用機能など、必要な機能の付加や規模の精査をしっかりと行ってきたところです。

新庁舎整備の総事業費については、昨今の建設費及び人件費の急激な高騰が大きく影響しています。400億円は大きい金額ですが、新庁舎は今後さいたま市を牽引する都市経営の拠点となるものであることから、発注方式の工夫や国庫補助の活用、また民間機能の誘致による収入確保など、財政負担の軽減を図りながら着実に進めていきたいと考えています。

○ 埼玉新聞 審議会の中でも指摘はされていたんですけども、DXが進めば、ここまで広くなくてもいいのではないかという委員の意見がありましたけれども、その点はいかがですか。

○ 市長 今後、私たち基礎自治体について昨今の状況を見ると、DXが進む一方で、よりきめ細やかな住民ニーズに対応していくために、国の法律改正、あるいは制度改正も含めて、かなりきめ細やかなサポートを求められています。そういったことも勘案しながら、またこのDXをさらに推進していくことも踏まえながら検討してきたところです。今後は、DX化が進み、効率化が図られる中で、職員の数が縮減できる状況になれば、これは当然空く場所も出てきます。そういったことは、また民間活用も含めて有効に活用するやり方をしていきたいと考えていますが、現時点では、これまでつくってきた庁舎も含め、どちらかというとより細かい行政ニーズへの対応で、窓口が増えていたり、人員の強化がむしろ求められているという、そのような社会情勢もありますので、そういったものも十分勘案しながら、私たちとしてはこの基本計画をまとめさせていただいたところです。

その他：桜木駐車場用地活用に係る事業者の決定について

○ 埼玉新聞 埼玉新聞です。

桜木駐車場の事業者がほぼ決定しましたが、この点の受け止め、

30年間駐車場として使われていて、今後ということなんですけれども、その辺の受け止めをお願いいたします。

- 市長 まず初めに、今回ご提案をいただきました応募者の皆様には、桜木駐車場用地活用事業に対し、大変真摯な姿勢で取り組んでいただき、素晴らしいご提案をいただいたことに深く感謝を申し上げます。大宮ウエルビーイングステーションをコンセプトに、新たなビジネス、文化、ライフスタイルを生む拠点を目指す提案としてご提案いただいた事業者が優先交渉権者に決まったところです。

選定委員会から提出された審査講評にもありますが、優先交渉権者の提案は、大宮の歴史、また文化的な特性を十分に理解し、対流拠点の形成を実現しようとする点をはじめ、多くの審査項目において優れた内容となっていたと考えています。私としても、鉄道輸送を活用した東日本圏域との連携といった取組などとともに、地域課題への取組を図りながら、東日本の対流拠点の形成に資する機能の導入が図られている提案となっていることから、鉄道のまちとしての歴史、また文化をさらに進化させて、本市の魅力がさらに高まることを期待しています。

- 埼玉新聞 30年目で決まったということで、その辺の受け止めはいかがですか。

- 市長 これまで駐車場として活用し、また新型コロナウイルス感染症の際には集団接種会場としても活用してきたところですが、駅のそばにある大変広大な土地ですので、これを有効に活用しながら、東日本の対流拠点にふさわしいまちづくりを行っていきたいという観点から、この数年いろんな検討をしてきました。また、この場所だけではなくて、周辺の地域全体のまちづくりの方針を定めながら、この土地をより有効に生かしていくための取組などを検討してきて、ようやく今回優先交渉権者が決まりました。私たちとしては、周辺住民の皆さん、あるいはさいたま市全体の皆さんからの熱い期待もあると思いますので、それに応えられるしっかりとしたまちづくりを進めていけるように、これからもまた事業者の皆様と連携しながら進めていきたいと考えています。

その他：特別職の報酬について

- 埼玉新聞 埼玉新聞です。
今現在、首相とか特別職の給与について様々議論が出ていて、採決がさ

れるみたいですがけれども、自主返納する方針を示しているそうですけれども、さいたま市としても特別職の報酬の条例議案が提出されるのかどうかまだ分からないですがけれども、その辺の受け止め、検討はどうされるのか教えてください。

○ 市長 先般、特別職の報酬審議会等の委員会において、特別職についても報酬を上げるという答申をいただいたところです。私どもとしては、その答申をしっかりと尊重しながら対応していくことでお答えをさせていただいたところです。また、昨今の情勢なども踏まえながら適切に判断をして対応していきたいと考えています。まだ現在は検討中です。

○ 埼玉新聞 あまりないと思いますけれども、自主返納とか、そういうことは検討されていますか。

○ 市長 自主返納というのは、特別職でも政治家でない方は可能だと思いますが、例えば私とか、あるいは議員の皆さんは自主返納ができないと思います。公職選挙法に抵触することになりますので、その辺についてどういう形で提出するか等々については、十分に検討した上で対応していきたいと考えています。

その他:大宮アルディージャのJ3降格圏確定について

○ 埼玉新聞 大宮アルディージャの件ですけれども、確定ラインに到達してしまいましたけれども、まだ決定はしていませんけれども、そのエールというか、お願いいたします。

○ 市長 36節から4連勝して、終盤に巻き返しはしてきたものの、40節、41節の敗戦によりまして、J3の自動降格圏となる21位が確定したことについては、ホームタウンであるさいたま市としても非常に悔しい思いでいっぱいです。大宮アルディージャのJ3への降格はJ3リーグの結果次第ということですが、明後日12日にはNACK5スタジアム大宮において最終節となる東京ヴェルディとの一戦を控えています。最後まで諦めずに戦い抜いて、今シーズンを勝利で締めくくっていただきたいと思っています。

来シーズンは、今シーズンの無念を晴らすべく万全の準備をして臨んでいただくとともに、1戦1戦を全力で戦い、勝ち上がっていただきたいと思っています。クラブを応援している市民とファン、サポーターに多くの勝利

と喜びをもたらしていただけることを期待しています。本市としても、大宮アルディージャのホームタウンとして引き続きクラブをしっかりと支援していきたいと考えています。

以上です。

- 埼玉新聞 12日は、いろいろ日程が重なっているので、試合観戦はちょっとあれですかね。
- 市長 ちょっと日程がなかなか難しいのではないかと考えています。
- 日本経済新聞 そのほかご質問大丈夫ですか。
以上で本日の記者からの質問は終了とさせていただきます。ありがとうございました。
- 進行 以上をもちまして市長定例記者会見を終了させていただきます。
なお、次回の開催でございますが、11月24日金曜日午後2時からを予定しております。本日はありがとうございました。

午後 1時58分閉会

※この議事録は、明らかな言い直し、重複した言葉遣い、話し言葉などを読み易く整理したものを掲載しています。なお、会見後追加・訂正・補足等された文言等については（ ）とし、下線を付しています。